



2002年海外挙式動向調査

2003 年 5 月
ワタベウェディング株式会社

海外拳式取り扱い30周年を迎えて

日本人海外拳式者数の約 6 割を取り扱っておりますワタベウェディング株式会社（本社：京都市、資本金 17 億 5,450 万円、東証 2 部・大証 2 部上場、代表取締役社長：渡部隆夫）は、2002 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの日本人海外拳式動向の調査結果を取りまとめました。

この調査は、ワタベウェディングの海外店舗がある全世界 5 エリア 16 店舗（上海店を除く）で実施しました。これらの店舗から送られたデータは、日本国内で海外拳式の申し込みが可能なほぼすべての地域（当社調べ）を網羅しています。なお、この調査で示されたデータの一部は、海外現地教会・旅行会社・サプライヤー等から得た数値を基にした推定値を用いております。

2003 年当社は、創業 50 周年を迎えると同時に、ハワイ支社開設による海外拳式取り扱い 30 周年を迎えます。これを機に、海外拳式市場全体の需要喚起をはじめブライダル業界全体の活性化に貢献できるよう、トータルブライダルソリューションの確立を目指してより一層の努力で邁進いたします。

目次

海外拳式取り扱い30周年を迎えて 1

【海外拳式マーケット解説】

2002年の概況 2

今後の予測 3

調査概要 5

【総合統計】

全国総婚姻組数と海外拳式組数の推移 6

エリア別 総拳式組数 7

- ・拳式組数
- ・拳式エリアの分布と割合
- ・拳式列席者の同伴率
- ・拳式列席者の平均人数

都道府県別 海外拳式推定比率 10

【エリア解説】

2002年傾向と2003年予測 12

- ・ハワイ地区
- ・ミクロネシア地区
- ・オセアニア地区
- ・アメリカ・カナダ地区
- ・ヨーロッパ地区

2002年の概況

全国総婚姻組数の大幅な減少や国際的な情勢不安の影響を受けて、
海外挙式組数も減少したが、海外挙式シェアは0.1ポイントながら上昇。
希望候補地の分散化がみられる中、ミクロネシア(グアム・サイパン)とヨーロッパが好調。
米国同時多発テロ事件以降、徐々に回復の兆しが見えるものの、海外挙式希望者の心理に不安材料が残る。

全国総婚姻組数が大幅に減少ミレニアム 21世紀挙式の反動と晩婚化の進行が減少の理由

ブライダルマーケットのベースとなる全国婚姻届出組数は、第2次ベビーブーム世代が結婚適齢期を迎え、ここ数年80万組に迫る増加傾向にありましたが、2002年厚生労働省の推定値では75万5,000組(対前年約4万5,000組減少、6%減)と、予期せぬ大幅減少となりました。

本調査2001年版で当社の2002年全婚姻組数の見込み数は、年代別人口構成から見て、2001年と同様数(78万~80万組)に達するであろうという予想をしていました。この予想を大きく下回る結果となった要因としては、「2000年のミレニアムウェディング」、「2001年の21世紀挙式」と過去2年続いたメモリアルウェディング人気で挙式が集中した反動と、都心部を中心とした晩婚化の進行等が推測できます。少子化の影響が現れたとの意見もありますが、年代別人口構成から見てこの意見は数年早すぎると当社では考えております。

米国テロ事件後、徐々に回復傾向にあるものの 相次ぐ国際情勢の突発により不安材料を与える

海外挙式マーケットの当社予想(2001年4月発表)は、テロ事件直後からの大幅組数減少が一段落し、急回復を見せた1月~3月の挙式予約状況が好調であったことから、婚姻届出組数予想80万組に対して海外挙式比率が7.8%の6万3,000組に達する強気な予想をしておりました。しかし実際は4万8,000組(対前年約2,000組、4%減)にとどまり、海外挙式比率も横ばいの6.4%(同0.1ポイント増)と予想を大きく下回る結果となりました。

予想から1万5,000組減少することとなった要因は、米国同時多発テロ事件の影響で挙式を延期されたカップルが1~3月に集中したことにより、海外挙式組数がその後も増加傾向にあると見えたものの、4~9月は前年ほぼ横ばいであったことが挙げられます。さらに、10月のバリ島における爆破テロ事件や、12月のグアムの観光インフラに壊滅的な打撃を与えた台風等の予期できない突発要因も影響しました。

いずれにせよ、米国同時多発テロ事件以降の海外リゾート地におけるこれらの事件が、海外挙式者の心理に不安材料を与えていることは事実であります。

海外挙式エリア： 希望候補地に分散化の波

旅行地としてアジア系や南太平洋などのリゾート地の人気上昇などにより、挙式エリアについても、全体的に候補地の分散化がみられました。ハワイは人気No.1の地位は揺るぎないものの、他のエリアにシフトした結果シェアをダウンさせました。ミクロネシア(グアム・サイパン)は、12月の台風襲来にも拘らず5ポイントアップと健闘。オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド)は約3ポイントダウン。一方で、ケアンズ挙式が増加するなど、地域的なバラつきがみられました。アメリカ/カナダは約33ポイントダウンと、年間を通じてテロ後の影響を一番大きく受けました。ヨーロッパは、映画などの影響を受けてイタリア挙式に人気が集まり、約1.6ポイントと微増しました。その他のエリアでは、バリ島が10月のテロまでは前年比倍増の進捗で推移しましたが、テロで壊滅的な状況となりました。南太平洋はフィジー、タヒチを中心に大幅アップしており、挙式希望候補地に多様化の波が寄せてきています。

列席同伴率：テロ後の波が沈静、通年ペースに 列席平均人数：ほぼすべてのエリアで増加

列席者の同伴率に関しては、米国テロ直後にかなりの列席者が渡航を控えたために減少したハワイ、アメリカ/カナダの前年数値が、元通りの水準に戻っています。また、安全な印象があるためテロ直後の2001年大きく伸びたとみられるオセアニアも、通年の水準に戻ったといえます。

列席者の平均人数は、ハワイを除くすべてのエリアで増加。とくにヨーロッパでは、過去最高の6.4人を記録しています。

今後の予測

国際的事件の連続発生、2003年は一時的な停滞は否めないと予測されるものの、中・長期的には、海外挙式の潜在需要は依然高く、順調な伸びとシェアの拡大が見込まれる。

イラク戦争やSARSなど国際的な事件の連続発生が、心理面でマイナスにひびく

2003年の婚姻届出組数は、引続き晩婚化が進行し、状況は昨年同様数の75万組前後になると当社では予想しています。このうち海外挙式マーケットは、イラク戦争の勃発、新型肺炎SARSの発生と世界的に大きな事件が連続したことで、大きな影響を受けています。この影響により航空各社が国際線の大幅減便を決めるなど、ゴールデンウィークの海外旅行をはじめ今年の海外出国者数は大幅に減少することが予想されます。

事態の早期收拾によるV字回復を期待

海外挙式者の心理面への不安材料が落着く間もなく連続して事件が発生したことは、マーケット全体にネガティブな影響を与えています。

ブライダル専門紙の『ブライダル産業新聞』によれば、現時点での情勢不安の影響を「突発的に発生した前回の同時多発テロと違い、事前報道をにらみながら業者、利用者双方が対応してきたことで大きな動揺は抑えられている」としながらも、「今後の国際情勢の動向次第ではまだまだリスク含みの展開は想定される」（同紙）とコメント。

早期に事態の收拾がつくようであれば、米国同時多発テロ事件後の状況と同様に急速なV字回復も期待できますが、事態收拾の時期がはっきりしない現在にあっては、海外挙式マーケットにおける総組数の予想は慎重にならざるを得ず、上半期の挙式組数は昨年を割込む状況が予想されます。これに伴い2003年の海外挙式組数は、通年で4万8,500組程度であると予測し、婚姻届出組数に対する海外挙式比率は、同時多発テロ事件のあった2001年や昨年と同レベルの、6.5%（対前年0.1ポイント増）と予測しています。

潜在的な需要が高く、中長期的にさらなる需要の拡大が見込まれる

2004年以降、少子化の影響が目に見えて現れてくるのは、数年先と思われますが、年代別人口構成から見て、婚姻届出組数は、20年後には約半数の40万組ほどまで減少するといわれています。従って、突発する国際情勢への危機

管理能力だけでなく、こうした現象に対応していく企業の底力が問われるため、乗り切る体力のない中小の業者が淘汰され、全世界的にプロデュース力を発揮する企業による寡占化が進むと考えられます。

お客様の動向としては、様子見のために一時的な停滞が予測されますが、海外挙式の潜在需要は依然高く、中・長期的には順調な伸びと更なる需要拡大が見込まれます。

全国的なニーズの高まりも

例えば、結婚情報誌『ゼクシイ』の「結婚トレンド調査2002」（株式会社リクルート B&B ディビジョン、2002年9月発表）によれば、海外挙式を検討した層が例年5割ほどで推移（実行の有無問わず複数回答：2002年43.4%、2001年47.9%）しており、潜在的な需要の高さを示しているといえます。

また、当社取扱海外挙式者の居住地による都道府県別「海外挙式推定比率」においても、中国・四国地方などの地方都市が着実に比率を伸ばすなど、都市部だけでなく全国的に海外挙式のニーズが高まっているといえます。

ブライダル専門紙の『ブライダル産業新聞』では、将来的な海外挙式マーケットについて、「全国的にニーズは広まっているものの、取り扱い業者の展開が未開拓エリアが相当残っているだけに、今後有力業者による地方展開が急速に進展する可能性はある」（同紙）と、今後の課題と共に潜在的なニーズが掘り起こされる可能性を示唆しています。

“自分たちらしさ”、“憧れ”の海外挙式
将来的に急速なシェア拡大の可能性も

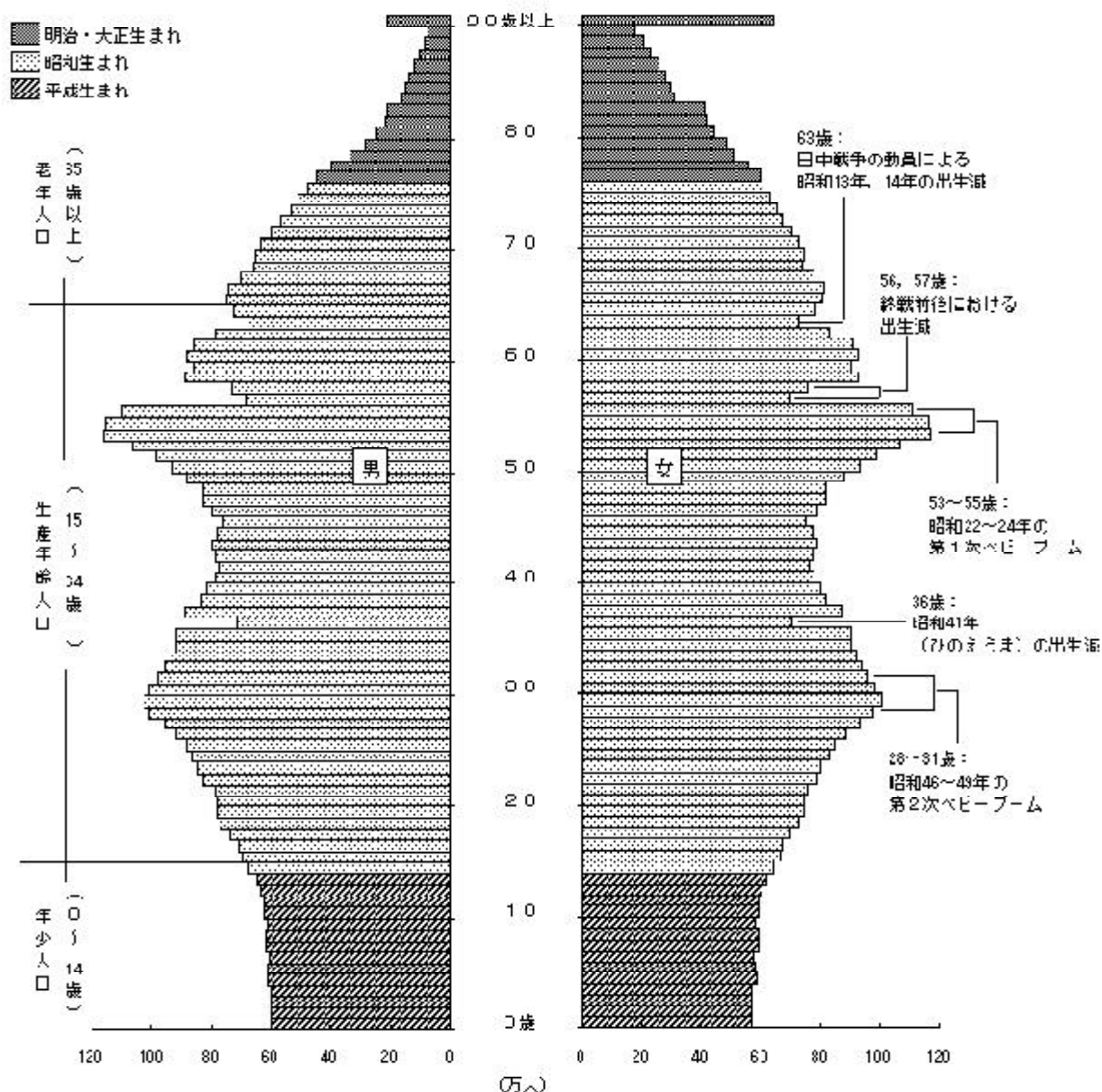
一方、当社の海外挙式の選択理由の調査では、“自分たちらしい挙式ができる”ことや“憧れていた”ことが、1位・2位を例年独占しています。結婚情報誌『ゼクシイ』の「海外ウェディングに関する調査2002」（株式会社リクルート B&B ディビジョン、2002年6月発表）においても、海外挙式の選択理由に“堅苦しい結婚式をしなくなかった”という挙式に自分たちらしさを求める層が53.4%、“以前から憧れていた”が52.8%、“挙式だけでなく新婚旅行も一緒にできる”が44%となっており、多くのお客様が、海外挙式に大きな魅力を感じていることの現われといえます。

昨今の婚礼スタイルの多様化で浮き彫りになった「より自分たちらしい挙式」を希望するこだわり派の増加傾向を鑑みても、中・長期的には、海外挙式シェアは15%以上、都市部では25%以上に伸びるものと予測されます。婚姻届出組数の減少が進む将来、この傾向が強まれば、急速な海外挙式シェアの拡大も見込まれます。当社は、2005年5万5,000組（約7%：75万組中）、2010年7万2,000組（約10%：70万組中）と予測し、この需要創出のマーケティング施策を展開して参ります。

このような厳しい経営環境の中、当社は海外挙式組数確保のための安易な安価販売に走ることなく、すてきな結婚式の追求を続け、お客様により感動していただける商品開発を強化してまいります。

また、将来的な需要の拡大を見込まれる海外挙式マーケットにおいて、国内60店舗以上のネットワークを活かした送客体制と大手旅行社とのタイアップで、取扱組数シェアアップに繋げると同時に、一組当たり単価の向上により前年を上回る売上確保に努めて参ります。

【人口ピラミッド】



調査概要

調査概要

- 調査方法： 弊社の海外店舗（全世界5エリア16店舗（上海店を除く））におけるアンケート形式、および弊社実績に基づくマーケティングによる推定値の算出
- 調査対象： 下記対象期間内に催行された海外挙式を取り扱う
旅行会社各社、挙式運営会社各社、現地の挙式会場、現地のサプライヤーなど
- 対象期間： 2002年1月1日～2002年12月31日
- 調査エリア：

ハワイ地区	（集計：ホノルル店、マウイ店、コナ店）
ミクロネシア地区	（集計：サイパン店、グアム店）
オセアニア地区	（集計：ケアンズ店、ハミルトン店、ゴールドコースト店、シドニー店、クライストチャーチ店）
アメリカ・カナダ地区	（集計：バンクーバー店、ラスベガス店、ロサンゼルス店）
ヨーロッパ地区	（集計：ロンドン店、パリ店、フィレンツェ店）
その他の地域	（集計：弊社国際マーケティング部）
- 注 意 点：

< 全国統計について >

全国総婚姻組数は、厚生労働省人口動態統計による。2002年は同省による推定値。都道府県別・海外挙式者居住地統計における、「2002年の都道府県別婚姻組数」は、調査実施期間内に公表されないため、2001年12月～2002年11月の厚生労働省「月報」発表に基づき算出した推定値を、同省発表の予測数値に基づいて比率を揃え、算出したもの。

< エリア統計について >

上記調査エリアを対象としたもので、アフリカ、南米、ロシア・東欧、中近東、個人手配などによる特殊エリアについては、含みません。しかし、挙式候補地の多様化・分散化がすすみ、インターネットなどを利用した個人手配も可能な昨今であるため、今回の調査で含み得なかった地域での挙式組数は、全体の2%ほどと推測されることをお断りしておきます。

その他の地域は、タイ、インドネシア、フィジー、ニューカレドニア、タヒチ、シンガポール、モルディブ、カリブ等を合計した数値。

アメリカ地区は、メインランドの数値でカリブ諸島等は含まない。

ヨーロッパ地区の統計は、集計店地域のほか、スイス、オーストリア、スペイン、ギリシャ、ベルギー、ドイツ、北欧等を含む。

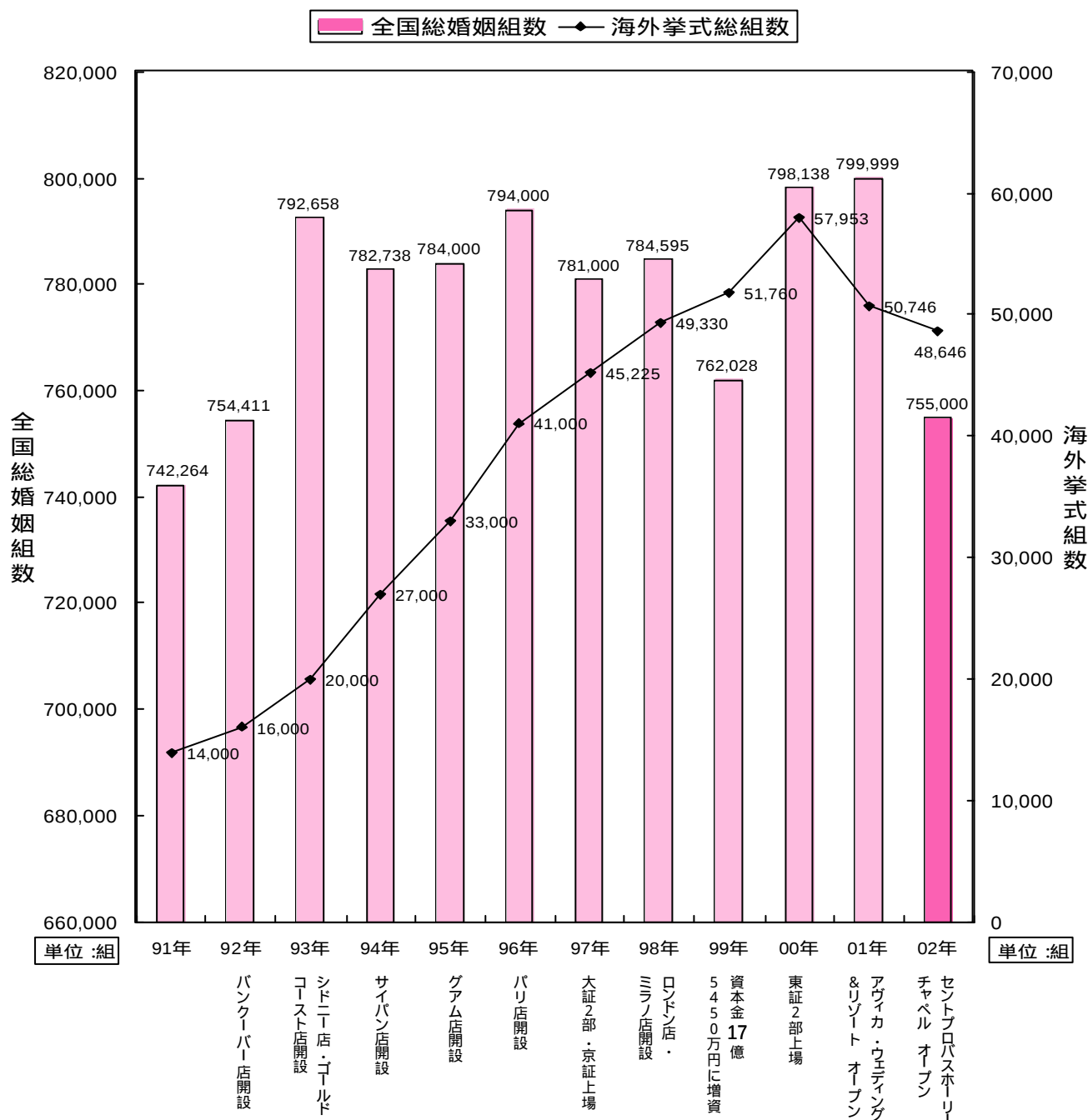
総合統計

全国総婚姻組数と海外挙式組数の推移

- 全国総婚姻組数の減少（対前年比94%、約45,000組ダウン）に伴い、海外挙式組数も減少。しかし、対前年比96%、2,100組ダウンに留まったことにより、海外挙式比率は、6.4%と横ばいながら若干の伸びをみせた。

期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
全国総婚姻組数（1）	742,264	754,411	792,658	782,738	784,000	794,000	781,000	784,595	762,028	798,138	799,999	755,000
海外挙式総組数	14,000	16,000	20,000	27,000	33,000	41,000	45,225	49,330	51,760	57,953	50,746	48,646
海外挙式比率	1.9%	2.1%	2.5%	3.5%	4.2%	5.2%	5.8%	6.3%	6.8%	7.3%	6.3%	6.4%
当社取扱組数										30,917	27,609	27,501
当社シェア										53.3%	54.4%	56.5%

1：全国総婚姻組数は厚生労働省人口動態統計による。2002年は推定値。



エリア別総拳式組数(前年比較)

- 米国テロ後の回復に苦戦するアメリカ / カナダ地区は33ポイント減少。その他は軒並み横ばいか微減傾向にあるなか、ミクロネシア地区が5ポイント伸びている。
全体傾向としては、旅行地としてアジア系や南太平洋などのリゾート地の人気上昇などにより、拳式エリアについても、候補地の分散化がみられる。

- ハワイ：総拳式組数は約8ポイントダウン。分散化の影響を受け、他のエリアにシフトした結果となった。
- ミクロネシア：総拳式組数は約5ポイントアップ。12月のグアム台風により打撃を受けたものの、健闘。
- オセアニア：総拳式組数は約3ポイントダウン。オリンピック後の渡航者減少の一方で、ケアンズ拳式が増加。
- アメリカ / カナダ：総拳式組数は約33ポイントダウン。年間を通じて、テロ後の影響を一番大きく受けた。
- ヨーロッパ：総拳式組数は約1.6ポイントの微増。イタリア拳式人気が好調の要因。
- その他：10月のバリ島テロ後は前年比倍増で進捗。南太平洋はフィジー、タヒチを中心に大幅アップ。

ハワイ地区 (集計：ホノルル店、マウイ店、コナ店)

期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総拳式組数	9,000	10,400	12,400	17,000	20,500	25,000	26,531	29,300	29,800	32,756	25,916	23,907
内当社取扱組数										16,595	12,705	12,379
当社シェア										50.7%	49.0%	51.8%
総拳式組数前年比	112.5%	115.6%	119.2%	137.1%	120.6%	122.0%	106.1%	110.4%	101.7%	109.9%	79.1%	92.2%
当社取扱式列席同伴率	32.0%	45.0%	47.7%	55.0%	68.0%	69.0%	69.0%	70.0%	75.0%	76.0%	63.7%	76.0%
当社取扱式列席平均人数	6.2	6.3	6.8	7.2	7.8	7.9	7.8	8.0	8.0	8.3	8.5	7.7

ミクロネシア地区 (集計：サイパン店、グアム店)

期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総拳式組数		1,500	2,000	2,600	3,500	5,000	5,500	6,135	7,100	9,550	9,843	10,379
内当社取扱組数										7,007	7,475	8,157
当社シェア										73.4%	75.9%	78.6%
総拳式組数前年比			133.3%	130.0%	134.6%	142.9%	110.0%	111.5%	115.7%	134.5%	103.1%	105.4%
当社取扱式列席同伴率						55.0%	63.0%	70.0%	75.0%	77.1%	78.2%	78.3%
当社取扱式列席平均人数						9.1	8.2	8.7	8.8	9.0	9.0	9.2

オセアニア地区 (集計：ケアンズ店、ハミルトン店、ゴールドコースト店、シドニー店、クライストチャーチ店)

期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総拳式組数		2,200	3,000	4,000	5,000	5,500	5,900	6,135	6,100	6,072	5,955	5,784
内当社取扱組数										3,506	3,921	4,171
当社シェア										57.7%	65.8%	72.1%
総拳式組数前年比			136.4%	133.3%	125.0%	110.0%	107.3%	104.0%	99.4%	99.5%	98.1%	97.1%
当社取扱式列席同伴率						29.0%	34.0%	37.0%	41.0%	50.0%	59.0%	50.8%
当社取扱式列席平均人数						59	52	58	52	57	55	63

アメリカ / カナダ地区 (2) (集計：バンクーバー店、サンフランシスコ店、ラスベガス店、ロサンゼルス店、オーランド店)

期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総拳式組数		900	1,200	1,300	1,800	2,900	3,600	3,660	3,860	4,150	3,554	1,876
内当社取扱組数										2,686	2,203	1,437
当社シェア										64.7%	62.0%	76.6%
総拳式組数前年比			133.3%	108.3%	138.5%	161.1%	124.1%	101.7%	105.5%	107.5%	85.6%	52.8%
当社取扱式列席同伴率							28.0%	29.0%	38.0%	39.1%	24.7%	32.7%
当社取扱式列席平均人数						41	5.7	5.4	6.2	6.6	5.6	6.0

ヨーロッパ地区 (3) (集計：ロンドン店、パリ店、フィレンツェ店)

期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総拳式組数		700	1,000	1,200	1,400	1,400	2,200	2,500	3,100	3,400	3,200	3,250
内当社取扱組数										1,123	1,305	1,357
当社シェア										33.0%	40.8%	41.8%
総拳式組数前年比			142.9%	120.0%	116.7%	100.0%	157.1%	113.6%	124.0%	109.7%	94.1%	101.6%
当社取扱式列席同伴率							28.0%	35.0%	42.0%	43.6%	39.3%	42.0%
当社取扱式列席平均人数							4.5	3.5	3.8	6.0	3.8	6.4

その他の地域 (タイ、インドネシア、フィジー、ニューカレドニア、タヒチ、シンガポール、モルディブ、カリブ等)

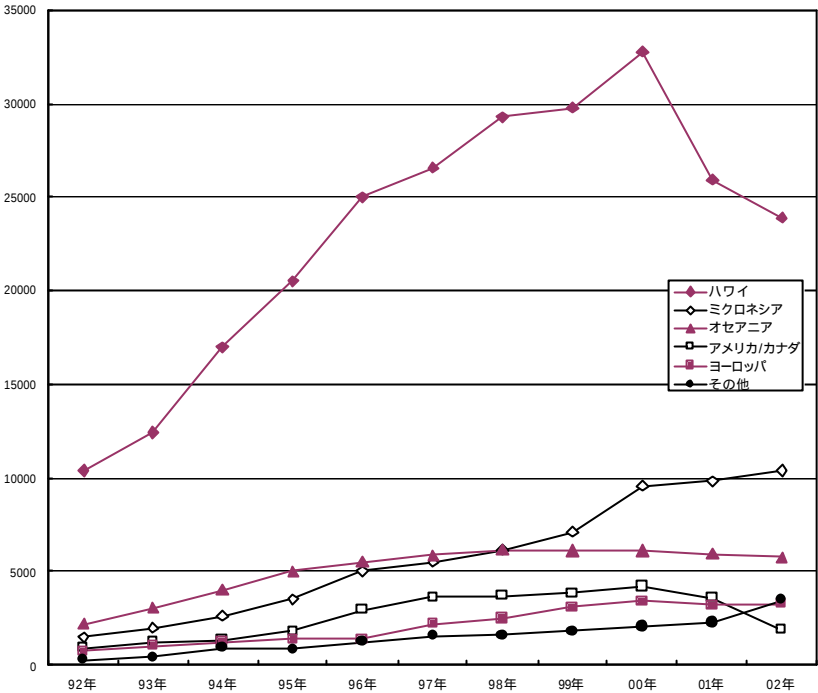
期間	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総拳式組数		300	400	900	800	1,200	1,550	1,600	1,800	2,025	2,278	3,450

2:アメリカ地区はメインランドの数値でカリブ諸島等は含まれていません。

3:ヨーロッパ地区の統計は、集計店地域のほか、スイス、オーストリア、スペイン、ギリシャ、ベルギー、ドイツ、北欧等を含んだものです。

エリア別：拳式組数

- 対前年比で組数を伸ばしているのは、ミクロネシア、ヨーロッパ、その他の地域。
とくにミクロネシアは、2002年12月、過去最大級の台風のグアム襲来による打撃があったにもかかわらず1万組の大台にのり、前年対比105%と健闘している。



【 エリア別拳式組数 】

	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	単位 組 2002年
ハワイ	10,400	12,400	17,000	20,500	25,000	26,531	29,300	29,800	32,756	25,916	23,907
ミクロネシア	1,500	2,000	2,600	3,500	5,000	5,500	6,135	7,100	9,550	9,843	10,379
オセアニア	2,200	3,000	4,000	5,000	5,500	5,900	6,135	6,100	6,072	5,955	5,784
アメリカ/カナダ	900	1,200	1,300	1,800	2,900	3,600	3,660	3,860	4,150	3,554	1,876
ヨーロッパ	700	1,000	1,200	1,400	1,400	2,200	2,500	3,100	3,400	3,200	3,250
その他	300	400	900	800	1,200	1,550	1,600	1,800	2,025	2,278	3,450

その他は、タイ、インドネシア、フィジー、ニューカレドニア、タヒチ、シンガポール、モルディブ等を合計した数値。

エリア別：拳式エリアの分布と割合

- 結婚適齢期の女性に人気の海外旅行先としてアジア系リゾートが急上昇したことにより、ハネムーンおよび拳式エリアについても、候補地の分散化がみられる。
また、アメリカ / カナダ地区は、米国テロ後の拳式組数回復に苦戦し下げ幅が大きい。

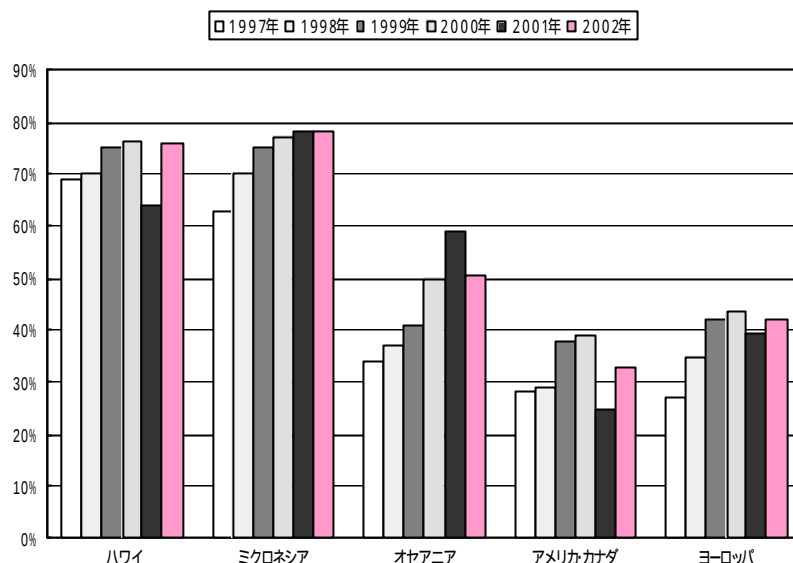
【 拳式エリアの割合 】

	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
ハワイ	65.0%	62.0%	63.0%	62.1%	61.0%	58.6%	59.4%	57.6%	56.5%	51.1%	49.1%
ミクロネシア	9.4%	10.0%	9.6%	10.6%	12.2%	12.1%	12.4%	13.7%	16.5%	19.4%	21.3%
オセアニア	13.8%	15.0%	14.8%	15.2%	13.4%	13.0%	12.4%	11.8%	10.5%	11.7%	11.9%
アメリカ/カナダ	5.6%	6.0%	4.8%	5.5%	7.1%	8.0%	7.4%	7.5%	7.2%	7.0%	3.9%
ヨーロッパ	4.4%	5.0%	4.4%	4.2%	3.4%	4.9%	5.1%	6.0%	5.9%	6.3%	6.7%
その他	1.9%	2.0%	3.3%	2.4%	2.9%	3.4%	3.2%	3.5%	3.5%	4.5%	7.1%

その他は、タイ、インドネシア、フィジー、ニューカレドニア、タヒチ、シンガポール、モルディブ等を合計した数値。

エリア別：拳式列席者の同伴率

- ハワイは12.3ポイント上昇、アメリカ/カナダは8.2ポイント上昇と、拳式組数では数字を落とした2エリアが健闘。これは、米国テロ直後にかなりの列席者が渡航を控えたために減少した前年数値が、列席者同伴率に関しては元通りの水準に戻ったといえる。
- オセアニアは、安全な印象があるためテロ直後の2001年大きく伸びたとみられるが、通年の水準に戻ったといえる。
- 約8割が列席者を同行するミクロネシアでは、0.1ポイントアップで横ばい。遠方のため列席者を同行しにくいヨーロッパにあって、2.7ポイントアップと伸びをみせている。

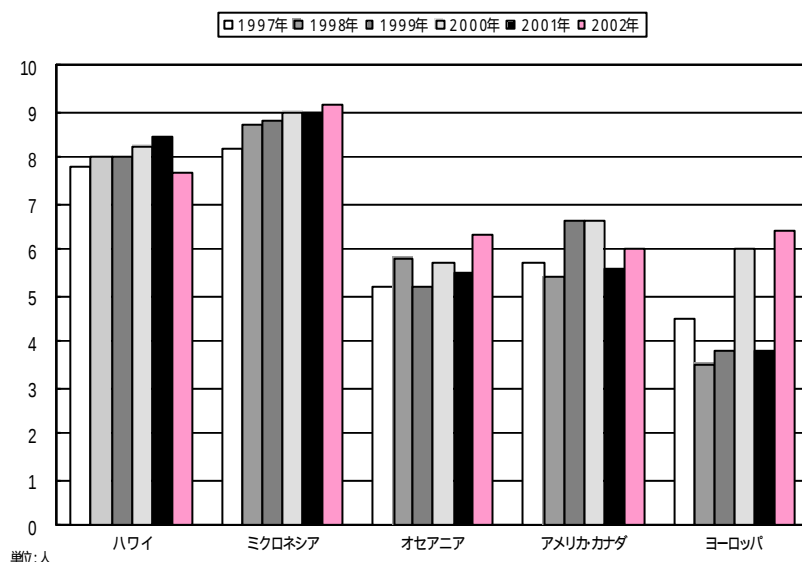


【 列席者の同伴率 】

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
ハ ワ イ	69.0%	70.0%	75.0%	76.3%	63.7%	76.0%
ミ ク ロ ネ シ ア	63.0%	70.0%	75.0%	77.1%	78.2%	78.3%
オ セ ア ニ ア	34.0%	37.0%	41.0%	50.0%	59.0%	50.8%
ア メ リ カ / カ ナ ダ	28.0%	29.0%	38.0%	39.1%	24.7%	32.7%
ヨ ー ロ ッ パ	27.0%	35.0%	42.0%	43.6%	39.3%	42.0%

エリア別：拳式列席者の平均人数

- ハワイを除くすべてのエリアで、列席者の平均人数が増加。とくにヨーロッパでは、過去最高の6.4人を記録している。
- ミクロネシアは、列席同伴率の上昇に伴い、年々順調に列席人数を増やし堅調。また、列席同伴率の高いハワイだが、一組当たりの同行人数は減少している。



【 列席者の平均人数 】

単位：人

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
ハ ワ イ	7.8	8	8	8.3	8.5	7.7
ミ ク ロ ネ シ ア	8.2	8.7	8.8	9	9	9.2
オ セ ア ニ ア	5.2	5.8	5.2	5.7	5.5	6.3
ア メ リ カ / カ ナ ダ	5.7	5.4	6.6	6.6	5.6	6
ヨ ー ロ ッ パ	4.5	3.5	3.8	6	3.8	6.4

海外挙式推定比率

【 当社取扱海外挙式者の居住地（都道府県別） 】

	新郎（人）	新郎比率	新婦（人）	新婦比率	2002年 全婚姻組数	2002年 海外挙式 推定比率	全国平均 県別比率	2001年 全婚姻組数	2001年 海外挙式 推定比率
北海道	675	2.5%	701	2.5%	32,569	3.7%	-2.7%	34,425	5.1%
青森	149	0.5%	115	0.4%	7,689	3.0%	-3.4%	8,069	1.7%
秋田	70	0.3%	57	0.2%	5,274	2.1%	-4.3%	5,743	2.5%
岩手	70	0.3%	84	0.3%	6,972	2.0%	-4.5%	7,443	2.2%
山形	180	0.7%	115	0.4%	6,517	4.0%	-2.4%	6,950	2.4%
宮城	202	0.7%	203	0.7%	13,910	2.6%	-3.8%	15,194	5.8%
福島	136	0.5%	172	0.6%	11,530	2.4%	-4.1%	12,623	2.8%
茨城	482	1.8%	489	1.8%	17,256	5.0%	-1.5%	18,013	5.1%
栃木	320	1.2%	304	1.1%	11,803	4.7%	-1.8%	12,695	4.4%
群馬	289	1.1%	269	1.0%	11,582	4.3%	-2.2%	12,320	4.2%
埼玉	1,333	4.8%	1,371	5.0%	42,774	5.6%	-0.9%	45,720	4.8%
千葉	1,548	5.6%	1,463	5.3%	37,577	7.1%	0.6%	39,532	7.2%
東京	4,044	14.7%	3,821	13.9%	84,347	8.2%	1.8%	88,538	8.0%
神奈川	2,833	10.3%	2,829	10.3%	58,943	8.5%	2.0%	61,763	8.0%
新潟	167	0.6%	203	0.7%	12,208	2.7%	-3.7%	12,893	4.6%
長野	193	0.7%	176	0.6%	12,489	2.6%	-3.8%	13,385	2.7%
山梨	53	0.2%	66	0.2%	4,806	2.2%	-4.2%	5,271	2.9%
静岡	496	1.8%	489	1.8%	22,672	3.8%	-2.6%	24,019	4.1%
富山	167	0.6%	163	0.6%	5,959	4.9%	-1.5%	6,203	5.4%
石川	175	0.6%	190	0.7%	6,537	4.9%	-1.5%	6,921	3.2%
福井	114	0.4%	101	0.4%	4,460	4.3%	-2.2%	4,721	5.4%
岐阜	404	1.5%	441	1.6%	11,511	6.5%	0.0%	12,013	6.9%
愛知	2,294	8.3%	2,190	8.0%	46,061	8.6%	2.1%	48,295	8.7%
滋賀	386	1.4%	419	1.5%	8,196	8.7%	2.2%	8,561	8.2%
三重	518	1.9%	789	2.9%	10,506	11.0%	4.5%	10,946	9.3%
奈良	645	2.3%	674	2.5%	7,622	15.3%	8.8%	7,998	9.8%
和歌山	347	1.3%	366	1.3%	5,414	11.6%	5.1%	5,908	12.5%
京都	785	2.9%	793	2.9%	14,822	9.4%	2.9%	15,775	9.6%
大阪	3,447	12.5%	3,319	12.1%	55,361	10.8%	4.3%	59,864	10.8%
兵庫	2,040	7.4%	2,085	7.6%	32,389	11.3%	4.8%	35,124	10.3%
岡山	285	1.0%	313	1.1%	10,890	4.9%	-1.6%	11,504	6.5%
広島	504	1.8%	533	1.9%	16,458	5.6%	-0.9%	17,387	5.1%
鳥取	101	0.4%	88	0.3%	3,201	5.2%	-1.2%	3,340	5.7%
島根	79	0.3%	79	0.3%	3,602	3.9%	-2.5%	3,803	2.5%
山口	211	0.8%	251	0.9%	7,497	5.4%	-1.0%	8,118	3.9%
愛媛	197	0.7%	216	0.8%	7,772	4.7%	-1.7%	8,043	5.4%
香川	149	0.5%	145	0.5%	5,570	4.7%	-1.8%	6,046	4.4%
徳島	101	0.4%	97	0.4%	4,109	4.3%	-2.2%	4,292	4.4%
高知	92	0.3%	62	0.2%	3,996	3.4%	-3.0%	4,246	2.4%
福岡	535	1.9%	538	2.0%	30,255	3.1%	-3.3%	31,143	3.6%
佐賀	18	0.1%	22	0.1%	4,374	0.8%	-5.6%	4,715	0.3%
長崎	61	0.2%	71	0.3%	7,708	1.5%	-4.9%	8,138	1.9%
大分	66	0.2%	79	0.3%	6,249	2.1%	-4.4%	6,747	2.2%
熊本	75	0.3%	75	0.3%	9,815	1.3%	-5.1%	10,404	1.4%
宮崎	70	0.3%	119	0.4%	6,106	2.7%	-3.7%	6,560	2.0%
鹿児島	105	0.4%	115	0.4%	9,101	2.1%	-4.3%	9,598	2.1%
沖縄	61	0.2%	57	0.2%	8,542	1.2%	-5.2%	8,990	0.9%
その他	228	0.8%	185	0.7%					
合計	27,501	100.0%	27,501	100.0%	755,000			799,999	

全国総婚姻組数は2001年12月～2002年11月の厚生労働省人口動態「月報」発表に基づき算出した推定値を、同省発表の予測数値に基づいて比率を揃え、算出したもの。
都道府県別海外挙式推定比率は、上記人口動態調査とワタベウェディング調査による

● 依然、"西高東低" 傾向にある 海外挙式比率

都道府県別に海外挙式の傾向を見ると、関西地方の推定比率が昨年と同様に最も高くなりました。次に中部・東海地方、関東地方がそれに続き、依然 "西高東低" 傾向にあります。

● 関東地方も健闘、 首都圏で安定した成長需要が見込まれる

京阪神圏に比べ数ポイント低い数値になっていますが、関東、とくに首都圏の海外挙式比率が着実に伸びています。首都圏は、挙式会場そのものの数が圧倒的に多い東京23区を抱え、さらに挙式の多様化が進んでいることを考えれば、むしろ海外挙式は、東京圏でも安定した成長需要のある稀有な市場であるといえるでしょう。

また全婚姻組数のうち、挙式を行わずに婚姻届のみでの結婚の方はおよそ10%～30%程度と言われているので、実質的な海外挙式推定比率は1～3%程度向上すると考えられます。これをもとに修正後の首都圏、とくに東京通勤圏地域での海外挙式比率を仮に計算すると、およそ平均10%程度となります。結果的に東京、名古屋、大阪といった大都市圏での海外挙式比率は、10%台に到達したとみることができます。

● 中国・四国地方がじわじわ伸張、 地方都市では国際空港へのアクセスが大事

中国・四国地方が、比率を着実に伸ばしています。こうした地方都市の健闘は、全国的なニーズの拡大を表しているといえます。

ただ、京阪神圏の海外挙式比率だけをとってみても、地方都市の2倍以上と依然開きがあります。例えば、全婚姻件数が比較的近い規模である京阪神圏と東北地方では、京阪神10.7%・東北地方3.2%と3倍以上の差が開いています。

今後海外挙式が各地で伸びていくためには、地方国際空港の有無だけではなく、居住地・あるいは地方都市から空港までのアクセスの向上、挙式スタイルの多様化に対する周囲の理解なども重要な要素と考えられます。

● 全国的なニーズのひろがり 潜在需要の取り込みが課題

全国的にニーズが拡大する一方で、海外挙式を取り扱う営業店舗の展開には未開拓の地域も多く、まだまだ潜在需要の掘り起しが可能であることを示していると考えられます。

また、ADSLなどIT環境の急速な整備・普及が進むことで、お客様がインターネットやホームページなどを駆使して情報収集することが益々一般的になるでしょう。地方都市にあっても、都心部との情報格差が狭まるなど、将来的にはより一層の需要拡大が見込まれます。

【 地方別 推定比率 】

		新 郎 ・ 新 婦 合 計 人 数	2002年 全 婚 姻 組 数	2002年 海 外 挙 式 推 定 比 率	全 国 平 均 県 別 比 率
北 海 道	北 海 道	1,377	32,619	3.7%	-2.7%
東 北	青 森 / 秋 田 / 岩 手 / 山 形 / 宮 城 / 福 島	4,305	117,375	3.2%	-3.2%
関 東	茨 城 / 栃 木 / 群 馬 / 埼 玉 / 千 葉 / 東 京 / 神 奈 川	21,398	263,857	7.2%	0.8%
	首 都 圏 (埼 玉 / 千 葉 / 東 京 / 神 奈 川)	19,243	223,396	7.6%	1.2%
甲 信 越	新 潟 / 長 野 / 山 梨	857	29,568	2.6%	-3.8%
北 陸	富 山 / 石 川 / 福 井	910	17,033	4.7%	-1.7%
東 海	岐 阜 / 愛 知 / 静 岡 / 三 重	7,620	90,511	7.4%	1.0%
関 西	滋 賀 / 奈 良 / 和 歌 山 / 京 都 / 大 阪 / 兵 庫	15,305	124,203	10.9%	4.5%
	京 阪 神 (京 都 / 大 阪 / 兵 庫)	12,469	102,954	10.7%	4.3%
山 陽	岡 山 / 広 島 / 山 口	2,098	34,679	5.3%	-1.1%
山 陰	鳥 取 / 島 根	347	6,777	4.5%	-1.9%
四 国	愛 媛 / 香 川 / 徳 島 / 高 知	1,060	21,394	4.4%	-2.0%
九 州 沖 縄	福 岡 / 佐 賀 / 長 崎 / 大 分 / 熊 本 / 宮 崎 / 鹿 児 島 / 沖 縄	2,067	82,223	2.2%	-4.2%

全国での海外挙式比率は6.4% (P.6 参照)

Hawaii

2002年の傾向

- 『価格志向派』と『高級こだわり志向派』との二分化傾向がより顕著に

2001年テロ後、ハワイウェディング誘致の為に発表した衣裳と人気オプションをセットにしたお手頃価格の『お買い得パッケージ商品』で顧客回復を図りました。その後も同商品の要望が強く、2002年も引き続き主催旅行会社各社の主要ラインナップもこのようなバック商品が占めていました。

ウェディング会社の中には、米国テロの影響で、ハワイで結婚式を挙げるお客様の戻りが見られない状態が続く中、安価販売にシフトしてしまったことにより、思うように利益確保ができず店舗の維持が困難になり、閉店や共同運営を余儀なくされるウェディング会社が相次ぎました。更に旅行地域としての人気不振の影響もあり、ハワイでの挙式総数は8%ダウン。そんな中、当社においては、『価格志向派』、『高級こだわり志向派』をバランスよく獲得できた結果、ほぼ昨年同数の挙式を確保できました。

- 人気のこだわりアイテムは
現地での挙式後パーティ

オリジナリティを発揮する上で需要が高まったものとしては、挙式後のパーティ、アルバムオプションがあげられます。特に挙式後のパーティに関しては、フラワーコーディネーターやオリジナルケーキオーダー、フラダンスやミュージシャンのエンターティナーなど、オリジナルアレンジが可能なコオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイに隣接するパーティ会場やワイキキ・ナウルトワーにあるウェディング専門レセプション会場『ホ・アオ』の支持が高まりました。特に『ホ・アオ』の利用組数は前年対比159%と大きく伸びています。

- 高級こだわり志向派は
ロケーション+個性で選ぶ

2002年のマーケット全体の特徴として、チャネルの多様化があげられます。これは、ウェディングアイテムにこだわりを持つ『高級こだわり志向派』とされるお客様層が、パッケージ商品では満足できずに、自分たちにとって重要なアイテムに強いウェディングプロデュース会社を選ぶ傾向が高まったことが要因といえます。

これは、海外挙式への要求が、“ロケーション重視”にプラスして“オリジナリティを発揮できる”ものを必要としてきている結果だと思われます。その結果、ウェディングプロデュース会社にとっては、プロデュース全般といった漠然とした状態から、個々の会社の特色、要望に対する臨機応変な対応等、国内ウェディングと同レベルでのプロデュース力が求められる時代になってきたと言えます。



ここがオススメ！

◀ オアフ島：ハワイ挙式30周年！ ▶

ワタベウェディングのハワイ支社開業30周年を記念して、2003年4月から2004年3月に、『コオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイ』で挙式のお客様全員に、ウェッジウッド製コオリナ オリジナル限定プレートをプレゼントします。同チャペルは、エンゲージリングをイメージした、ハワイでダントツの人気No.1を誇るチャペルです。限定プレートには、このチャペルを中央に飾った上品なデザインです。

また、“海が見える”こと+αの“テーマ性”を謳いヒットした『アクアベール フレマリナ・コオリナ ル・ブラージュ』では、2003年も、“幸せのブルー”にちなみテーマカラーを青色で統一、“ハワイの定番チャペル”として独自の特色を打ち出していきます。

◀ マウイ島・ハワイ島：ゆったり挙式 ▶

オアフ島に比べ、旅行リピーター率が高く、カップルの年齢層も高めなことが特徴です。高級リゾートホテルにゆっくり滞在し、ゆったりとした挙式を希望されるお客様に支持されています。一日の挙式組数が少ないことや、前日に牧師様とお打ち合わせができる教会もあることなどが、ポイントです。

2003年の取り組み

オリジナリティの追求の影響によりパーティに対するニーズが増加すると思われます。現在、挙式場自体のハードや環境が選択基準の一番のポイントとなっていますが、今後は、挙式後パーティが、大きなポイントとして、選択基準に加わると考えられます。

挙式後、ドレスを着たままパーティのできる環境を増やしていくとともに、内容的にも国内の人気レストランと同等、又はそれ以上の個別のニーズに応じたサービスを展開します。

特に、人気の『コオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイ』のベストタイムである11:00挙式と隣接するパーティ会場でのパーティをセットにした『コオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイ・パーティパッケージ』など、人気チャペルでの挙式と連動したパーティを充実させます。

また、こだわり派のお客様からのご要望の多い、美容師、カメラマンの指名制度を導入すべく開発を進める予定です。海外挙式の一番のウィークポイントである、“現地に行くまで見ることができない”という不安を、まずは要望の高い美容・記念撮影に関して、スタッフの顔の見える安心感を打ち出してまいります。

2003年、ワタベウェディングハワイ支社開業30周年を迎え、益々の安定した挙式演出と個々のニーズを汲み取った商品展開を行い、お客様への更なる感動を提案できるよう邁進します。

Micronesia

2002年の傾向

●「安・近・短」のミクロネシア

ミクロネシアエリアは、リーズナブル、渡航時間が近距離(約3時間)であること、旅行日程も短期間と、「安・近・短」の条件を満たす挙式地として、忙しい共働き夫婦や予算重視型の方、また多数の同行者のいる方やお子様連れ・ご妊娠中の方に支持され、取り扱い組数は順調に推移してきました。

年々増加するミクロネシアウェディング組数に対応するため、ワタベウェディングでは、2001年10月ニッコーホテルサイパン内に本格大型チャペルである「セントアンジェロ・チャペル」をオープン、2002年4月にはヒルトングアムリゾート&スパ内にグアム初のガラスのチャペル「セント・プロバス・ホーリー・チャペル」をオープンさせました。

●サイパン： 新チャペルが人気

サイパンでは、セントアンジェロの爆発的な人気により、サイパン全体の総挙式組数では、2001年の米国テロ事件の影響により前年比106%とほぼ横ばいの傾向にあるのに対し、当社においては前年比132%と大きな伸びを見せた1年でした。

●グアム：政府観光局の努力が テロ後・急回復の原動力に

グアムでは、2001年末までテロの影響を強く受けていましたが、年明けより、オールインワンパッケージ「デュエットプラン」(挙式+衣裳+ヘアメイク+ビデオ+アルバムをセットにしたお得なプラン)の発売により徐々に回復、その後の2002年4月の「セント・プロバス・ホーリー・チャペル」のオープンがきっかけで、明るい話題のもと、受注は回復傾向となりました。

テロ後の急速な回復の背景には、グアム政府観光局におけるバックアップもありました。同局は、グアム島でのウェディングを推進すべく多額の費用を投じ、繁忙期である秋口の顧客獲得のためのキャンペーン展開が行ないました。当社も追い風の中で多くのお客様を迎える準備を整えました。

●過去最大級の台風「ボンソナ」襲来

しかし、12月8日に発生した過去最大級の台風「ボンソナ」の襲来で、島全体が都市機能を失うという大惨事となり、当社運営のチャペルにおいても破損や浸水などの被害により、年内は全チャペル閉鎖という判断をせざるをえない状況となりました。

そこで当社では、復旧作業期間にグアム挙式を予定していたお客様を対象に特別救済プランを設け、サイパンをはじめ、ハワイ、オセアニアなど、他方面への振り替え誘導を実施しました。これにより他月への日時変更だけでなく、予定者のほぼ半数を、他方面へ切り替え対応することができました。これにより、サイパンは組数を伸ばし、12月は前年対比177%となりました。

ミクロネシア全体としては、チャペル1ヶ所増設のプラス要素が、台風のマイナス要素を吸収し、前年対比約1割アップの109%となっています。



ここがオススメ！

◀セント・プロバス・ホーリー・チャペル▶

自然との調和をコンセプトに、ガラス・石・木をふんだんに取り入れたリゾートチャペルとして2002年4月にオープン。

ヒルトングアムホテル西端の静かな丘にあり、ガラス張りの内部からは紺碧の海と恋人岬が一望できるという絶好のロケーション、「卵＝誕生」を意味する卵型のエントランスがお二人の新たな人生のスタートを象徴するなど、リゾートウェディングならではのロケーションとハードを兼ね揃えた大型チャペルとなりました。

また、1組あたりの挙式時間を、グアムでは初めての1時間30分間隔に設定し、挙式の感動とその余韻にゆっくり浸っていただけます。合わせて列席者向けのサービスとして、列席者無料送迎シャトルバスや広々とした控え室を完備し、ソフト面・ハード面ともに充実したチャペルとして、早くも人気チャペルの仲間入りを果たしました。

2003年の取り組み

ロケーションの良さと多くのハード(チャペル)の魅力で支持をいただいている現状をふまえ、2003年はこれまで以上にお客様にご満足頂けるサービスを追及し、ソフト面の強化を図ります。

ウェディングそのもののクオリティはもちろん、写真やウェディングパーティなどのウェディングオプション部分にいたるまで、徹底したサービスを行う仕組みや専門スタッフの配置を行い、顧客満足度の高いウェディングを提供していきます。

特に列席者の多いミクロネシアでは、現地で30名規模のパーティが行われることも多く、パーティの演出等にこだわりの強いお客様も徐々に増えています。日本の披露宴的なサービスを要望されるケースが多く、将来的にはパーティ施設のオペレーションも視野に入れ、さらなる需要拡大に取り組みます。また、ご妊娠中のご新婦様向けの十分なケアやサービス・商品展開に対する取り組みも開始します。

Oceania

2002年の傾向

●リゾート型のケアンズ挙式が大幅アップ 列席同伴率の増加が顕著に

総挙式組数は、前年対比97%と横這いです。2000年のオリンピック以降シドニーへの渡航者数が減少する一方で、ケアンズでの挙式組数が前年対比34%増の1,130組と大幅に増加したため、2002年はシドニーとケアンズの日本人挙式シェアが逆転した年となりました。

ケアンズの人気は、旅行者のオーストラリアでの楽しみ方が、従来の“都市型”から“リゾート型”へと変化していることに加え、オーストラリア航空のケアンズ直行便の増便・開始が、ケアンズ好調の大きな要因といえます。

平均列席者数が6.3人を記録。時差がほとんどなく温暖な気候に恵まれ、挙式をゆったり過ごせるというオセアニア地域の魅力が最大限に発揮されたといえます。顕著に増加する列席者数に対応するため、パーティプラン・会場ともに、最もバラエティに富んでいるのがオセアニア挙式の特徴です。

オセアニア全体の挙式マーケットが伸び悩む中、当社はシェアを前年比約7ポイント増やし、着実にシェアを伸ばしています。これは、当社がウェディングに関する美容・映像・花関連の自社オペレーションを始めた事により、特にカップルの持つこだわりに対する柔軟な対応やその品質レベルが受け入れられたものと考えられます。

●ゴールドコースト: 特色ある2教会が人気を二分

山頂の可愛いチャペルから石造りの教会、テーマパークでの挙式など、バラエティ豊かなゴールドコースト。なかでもアヴィカ・ウェディング&リゾート内にある「メルストニアン・チャペル」は、英国伝統の馬車による送迎と屋外でのケーキカット&シャンパン・トーストが好評。ここでしか実現できない豊富なオプションが人気の秘密です。「サンクチュアリー・コブ・チャペル」では、光がさしこむガラス張りの祭壇から美しい運河が一望できます。この2教会が人気を二分しました。

●シドニー: 都市型挙式は英国調の荘厳な教会で

シドニーでは、石造りの荘厳な教会が多く、長いバージンロード、パイプオルガン、スタンドグラス等、正統派教会の必須アイ

テムを完備した英国調の由緒ある教会での挙式が可能です。また、モダンな高層ビルが立ち並ぶハーバーシティでオペラハウス等を背景に、100カット以上撮影する「シドニー・シティ・ハンドレッド・フォトツアー」は、専属カメラマンによる自然なショットが人気です。

●ケアンズ: コアラとグレートバリアリーフがお出迎え

オセアニア地域の中で最も渡航時間が短く、旅行もリーズナブルなことから、好調のケアンズ挙式。当社取扱いも736件と前年比48%増となり過去最高となっています。ケアンズならではのレインフォレストの木々に囲まれた可愛い教会や、挙式後にドレスを着たままコアラを抱いての記念撮影ができる教会が人気。また、「グレートバリアリーフ・ホワイト・ビーチ・フォトツアー」は、美しい白砂と青い海をバックに撮影でき、好評です。

●ニュージーランド: 大自然に包まれる幸せ

ニュージーランドでは、大自然に囲まれた湖のチャペルや、一日一組限定の「ピクトリアン・チェンバー・ウェディング」など大自然と英国風の街並みが共存するガーデンシティに、趣の異なる教会が点在します。運河に舟を浮かべて撮影する「ペンティン・フォトツアー」やトラムを貸し切って撮影する「トラム市内・周遊フォトツアー」が人気です。



ここがオススメ!

”癒し”の屋外エステ・スパ新施設オープン!

◀ アヴィカ・ウェディング&リゾート ▶

ゴールドコーストで“ウェディングの楽園”をテーマとして展開している世界初の滞在型・複合挙式施設です。2003年4月より、“癒しの楽園”という新たな魅力を加え、一般旅行者をターゲットに展開します。これまで当社が培ってきたエステのノウハウを集結した“個室型の屋外エステ施設”を2003年秋にオープンし、更なる魅力を高めていきます。

また、日本人の挙式に加え、地元オーストラリア人やその他外国人による挙式が急増しています。現時点でも週末の土曜日は、現地の方の予約が、約1年先まで埋まっている状況です。

2003年の取り組み

ますます多様化するお客様のニーズに幅広く応えるため、美容・映像・花関連商品の自社オペレーション化を推進します。

美容事業は、屋外エステ・スパ施設を2003年秋にオープン予定。オーストラリアならではのハーブを生かした“フラワーヒーリングセラピー”を導入します。また、花関連事業は、第一線の技術・流行の最先端・お客様のニーズをいち早くキャッチし、他エリアに先んじて商品化を進めてきました。

イギリスで学んだ専任のフローリストがデザイン、コーディネートするオセアニア限定の花関連商品を充実させます。テーマごとに色や

花をアレンジした「テーブル・フラワーコーディネート」や、“お花でお色直し”する「ドレスアップフラワー」などアヴィカ・ウェディング&リゾートのみのオプションを展開します。

列席の増加に伴い、挙式後パーティーは、カジュアル型とフォーマル型の2種類をラインナップし層充実させています。また、ご要望の多い「ノーガルウェディング」を全地域で商品化しました。

今後も、あらゆるお客様にご満足いただけるよう、世界のトレンドをいち早く取り込み、ウェディングの新しい提案をしていきます。

USA・Canada

2002年の傾向

- 2002秋頃から徐々に回復傾向
こだわり派は "日本以上" の高品質を要求

2001年9月の米国テロ後、個人旅行・団体旅行を含む旅行者及びハネムーンターの減少、USA への飛行機乗り入れ減便による影響を受け、全体的に挙式数は減少しました。

しかし2002年秋頃から徐々に回復傾向にあり、当社店舗があるUSA・カナダ3店舗では、とくにラスベガス店の受注が安定しています。ラスベガス挙式が堅調に推移しているのは、あらゆる国から結婚式を挙げるカップルが集う街、世界でも有名な挙式地域として認識され、根強い人気を誇っていることの表れです。

カナダでは、挙式マーケット自体は微減傾向にありますが、2002年度より販売を開始したプリンスエドワード島での挙式が増加しています。

お客様は、あらゆるコンテンツにおいて、日本と同等かそれ以上の商品を当然のように期待する傾向が強まりました。当社では、海だけではないロケーションの豊富さ、スタッフの質の高さ、品揃えの良さなど、他エリアに比べ環境が整っているUSA・カナダならではの立地条件を活かした、ここでしか体験できない挙式商品及びオプション商品の開発に取り組んでいます。

なかでも、挙式後の会食とリムジンでの夜景ツアーをセットにした「ロマンチックディナー」を2002年夏からUSA・カナダ全店にて販売し、好評を得ました。お食事後に北米ならではの素晴らしいイルミネーションを見ながら、ゆっくりとした時間を楽しめる事が好評の原因だといえます。

- ラスベガス・ロサンゼルス：
挙式そのものに強いこだわり

ハネムーンついで「お気軽」で「格安」なウェディングというかつてのイメージから、「高額」でも「オリジナリティ」ある挙式を行えるというイメージへと徐々に変化してきています。リーズナブルな挙式として「ドライブスルーウェディング」が数年前から話題となっている一方で、2002年度についてはカップルの平均年齢の上昇とともに、実際にウェ

ディングに掛ける費用も増額傾向にあります。従来ロサンゼルス挙式者に多くみられた「挙式そのものにもオリジナリティ溢れるこだわりを」という要望が、ラスベガスにも強く求められてきています。

- カナダ：大人カップルが支持

冬はスキー、スノーボード、オーロラの見学のついでに挙式をする若年の価格重視派が多くなりますが、夏は大自然豊かな緑のなかでの挙式を目的に来られる「こだわり派」のお客が多く、平均年齢も新郎が31歳、新婦が29歳と世界の中でも大人のカップルの挙式が多く見られます。そのため、大人のこだわり層を対象に、オーダーメイドに近い挙式の実現を目指してきました。そんな中、子供の頃に読んだ本「赤毛のアン」の舞台となった、カナダ東部のプリンスエドワード島でのウェディングが好評でした。



ここがオススメ！

世界で最も豪華な不夜城をバックに！

◀「ナイトドライブ・フォトツアー」▶

ラスベガスでは、ナイトウェディングや、オープンカーでのナイトドライブビデオ撮影といった、「世界で最も豪華な不夜城」のイメージをそのまま挙式に反映させた商品で、昨年秋の商品化以降、多くのカップルから「世界中でラスベガスでしか体験できないウェディング」と好評です。

まるでハリウッド・スター気分！

◀「ハリウッドストーリーオプション」▶

数々の有名人を手掛ける著名なアーティストによる美容、フォト、ビデオ、レセプションでアレンジする映画の都ならではのオプションです。今までのパッケージ化された海外挙式のイメージを大きく変えるプランとして、話題性と高品質サービスの定評を付ける事を目指し展開します。

2003年の取り組み

2003年当社では、挙式へのこだわりを持つお客様層に絞り込み、価格競争ではなく、品質とサービスにフォーカスして対応していきます。

今後も「ロマンシングアメリカ」をテーマに、大人のカップルに受け入れられる、比較的少人数での列席者参加を希望するお客様を対象に、USA・カナダでしかご提案できないテーマ性を持った、新しくユニークで話題性のある商品を展開していきます。

ラスベガスの目玉商品は、2002年に没後25周年を迎え、世界中で人気再沸騰したエルヴィス・プレスリー（のそっくりさん）が参列し、祝福のパフォーマンスを行う、「ビバラスベガス・エルヴィス・オプション」です。エルヴィスが所有していたものと同年式のピンクキャデラック

での送迎、リクエストによる祝福の歌等、ラスベガス色満載の商品です。

また、ラスベガスの中でも静かなエリアにたたずむ「スペシャルメモリー・ウェディングチャペル」では、一組あたりの挙式時間を1時間と設定し、クオリティの高い挙式を提案します。

ロサンゼルスでは、高級避暑地として人気のエリア・サンタバーバラでの挙式を商品化。挙式シーンと私服でのハネムーンシーンの両方を盛り込んだ「フォトジェニックツアー」で、自然なショットが収められます。

カナダでは夏季はバンクーバー・スタンレーパークでの馬車乗車やカナディアンロッキーの大自然を活かしたフォトツアー、冬季にはスキーやスノーボード目的の方向けの新商品をご用意する予定です。

Europe

2002年の傾向

●ヨーロッパ全体では微増傾向 イタリア挙式が人気

2002年3月ころまでは、テロの影響による挙式控えのカップルが多かったことが要因で、ヨーロッパにおけるウェディングマーケット自体の伸びは微増と推定されます。4月からは回復に転じ、特に大手主催旅行社の旅行販売の顕著な伸びに歩みをそろえ、挙式組数も前年を大きく上回る実績を残しています。

地域的には、イギリス、フランスのマーケットは結果的には前年割れとなりましたが、その分をイタリアの伸びがカバーしています。特にフィレンツェは、同地区をテーマにした映画『冷静と情熱のあいだ』(製作：フジテレビジョン・角川書店・東宝)の影響などもあって、大きな伸びを示しています。

●歴史と伝統あるヨーロッパならではの こだわりはフォトツアーで

お客様の傾向としては、写真に対するこだわりの強い方が増加しているといえます。以前より、ヨーロッパならではの観光名所を背景に撮影するフォトツアーが人気でしたが、撮影場所を指定するケースが増えており、また撮影枚数を増やしてほしいなど、写真に対するリクエストが増加しています。

●列席者数が過去最高を記録！ 個室で楽しむランチパーティも人気

現地パーティの実行率も増加傾向にあります。パリ、イタリアを中心に、以前よりご要望の多かった“挙式後にドレスを着たままでパーティを行えるプライベート(個室)利用が可能な会場”でのランチプランを開始したことによりです。

また、遠距離であるヨーロッパでの挙式は、ハワイやグアムに比べて列席者は少なくなりますが、2002年は過去最高の3店舗の平均列席者数6.4名を記録しました。列席同伴率も42%と前年よりアップしています。

ここがオススメ！

お城で憧れの馬車に乗れる！

◀ 「シャトー・デスクリモン」 ▶

パリ郊外、童話の世界さながらの由緒ある古城です。「ルイ16世の間」と称される城内一豪華なサロンでの挙式は、1日1組限定。挙式後は、一流シェフの手によるウェディングランチが楽しめます。

注目のオプションは、憧れの馬車での送迎です。馬車から望むエントランスからシャトーへゆっくりと広がる景色が、中世の貴族のようにロマンチックな気分を盛り上げます。白鳥が飛来する大きな池や自然溢れる広大な敷地を馬車で巡り、その様子を撮影するのもオススメ。

気品溢れるヨーロッパならではの、リッチで優雅なひとときを過ごせます。

◀ ヨーロッパ・ネットワーク ▶

ヨーロッパ挙式は、自店舗のあるパリ、ロンドン、フィレンツェだけではありません。

フランスでは、パリはもちろん、コートダジュールの海を望むチャペルのある南仏ニース。イギリスでは、ロンドンのほか、エジンバラの古城。人気のイタリアでは、フィレンツェ、ローマ、ヴェネチアの宮殿。その他、楽聖モーツァルトも演奏した宮殿で挙式できるオーストリア。アルペンホルンやヨーデルが響く山頂のチャペルや、オードリー・ヘップバーンが挙式したチャペルが魅力のスイス。

歴史と伝統が薫るヨーロッパならではの挙式をご案内しています。

2003年の取り組み

ますます強まるイタリア挙式の人気に対応するため、挙式会場を新たに1つ追加し、5会場としました。また、店舗での対応キャパシティを増やすために、2003年3月、市内中心地ドゥオモ付近に「フィレンツェ店」を移転させました。フィッティングおよびヘアメイク、打ち合わせスペースを旧店舗の約3倍に広げました。

自店舗のある主要3地区(パリ・ロンドン・フィレンツェ)については、写真事業の強化に取り組みます。オリジナル写真集風のアルバムやデジタル加工タイプのアルバムなど、写真商品のバリエーションと撮影カット数を、従来に比べて大幅に増やし、写真に対するこだわりの強いお客様に対応します。

また、日本で人気のスタイルを常に磨き、撮影スタッフ全体のレベルアップを図ります。

ヨーロッパは熟年層向けの旅行マーケットとして、最も人気の高いディステーションのひとつです。今後、挙式サービスで培ったノウハウを活用し、熟年層向けに、何年目かの結婚記念や退職などを契機に夫婦が絆を確認しあうセレモニー(リファメーション)を、提案していきます。

【この調査に関する問い合わせ先】

ワタベウェディング株式会社
広報担当：青木

〒104 - 0031 東京都中央区京橋1 - 1 - 6

TEL：03-3274-4133 Fax：03-5202-6001

E-Mail：public@watabe-wedding.co.jp

URL：http://www.watabe-wedding.co.jp

著作：ワタベウェディング株式会社 2002年 Printed in Japan 不許複製

媒体へご転載・ご利用の際には弊社クレジットの表記をお願いします